

第1回次世代クラウドサービス検討WG

次世代クラウドWGの進め方 ～ 討議用資料 ～

2011年3月30日

ASP・SaaS・クラウド コンソーシアム

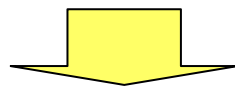
準備会合までに頂いた意見とそれに基づくWGの進め方概案（1/3）

準備会合前にコアメンバー（*）各社より頂いた主な意見（抜粋）

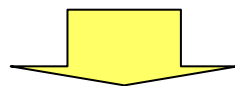
意見聴取の観点（例）	主な意見（例）
<p>WGにおけるテーマ設定</p> <ul style="list-style-type: none"> • 技術かサービスか • スマクラ研究会等の言う「次世代」の姿で良いか 	<ul style="list-style-type: none"> • ビッグピクチャを描くことが必要。それが社会インフラとなるのであれば、当社としてはそこへの部品を提供していける。実証実験もつくばでやっている • スマクラ研究会の「次世代」の定義で問題ないが、色んな次世代があって良い。技術特化よりはAPで次世代を論じて行く方が、WGメンバーにはとつき易い • 将来のAPやサービスに共通の基盤を検討するのではないか。インターネットのように、DC間の有機的な連携を広域な範囲で行う実証実験が出来たらよい • DC連携ありきではなくて、こういうサービスが要るから、連携が必要だという前提に立っていかないと使われないものになってしまう • 検討の内容の方向は大きく、①インフラ関連の検討②APの検討③ビジネスモデルの検討と3つある。検討体制もこれに応じたメンバー振り分けなどしてはどうか • 次世代＝インターネットという決め打ちはすべきでないが、そうだとした場合、どういう使い方があるのかは検討すべきではないか • 例えば、ピーク負荷のための負荷分散的な使い方もひとつであるが、貨物の物流のような社会システムをインターネットでやるというのもあるかと思う
<p>WGにおける検討体制</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 「学」の分野から有識者も入れてはどうか • 今のコアメンバーはインフラ系の会社ばかりなので、AP系＝ユーザー企業（やクラウドベンダ）、ビジネスモデル＝コンサル会社など入れたらどうか • インフラ、AP、ビジネスモデルの3つ（の次世代）を組み合わせ、輸出できたら、それらしい成果と思う。そういうグローバル検討には三菱商事など入れると良い

準備会合において概ね合意された本WGの目指すもののイメージ(案)

大きく、①インフラ ②AP+ビジネスモデルの2つの将来像を検討していくことで、次世代クラウドのあるべき姿を描く



- 検討の主眼は、今後のクラウドの先進的利用モデルをユーザー視点で描く②の方に置くこととする。作業のイメージは“創造”
 - － 貨物の物流のように複数企業がデータ連携する社会システムの的なものに焦点
 - － 現行システムのクラウドへの置き換え的なものは副次的な検討に留める
- ①の方は、現在のインフラ関連の技術開発の動向を知り、ユーザーは将来どのようなことが出来るようになるのかを知る。作業のイメージは“把握”
 - － インタークラウドを含む共通基盤＝スマートクラウド基盤とは何で、何が出来るか
 - － 実現に向けて障害となっている課題も把握する(技術的課題、制度的課題)



あるべき姿を描いたら、出来ていること、出来ていないことを明確にして、実現に向けての実証実験をしていくこととし、そのための予算要求を目指す

次世代クラウドWGの検討体制と作業の方向(案) — 体制

①についてはWGメンバーまたはWG外の有識者に専門的知見を提供頂く

- 第1回WGではCTCの福田氏につくば市での実証実験、及びGICTFの坂井氏にインタークラウド関連でお話し頂く
- 第2回WGでも、先進事例のあるWGメンバーの方やOGCの中村氏などにお話し頂くことを考えている
- 尚、第2回の開催を待つ間でもWGメンバーからのアドホックでの情報提供については歓迎なので、積極的提案をお願いする

②については、作業部会を組成して検討していくことを考えているが、検討分野とメンバーについては、本日の議論やアンケート等を通じて決めていく

- この作業部会でAP+ビジネスモデルの実質的検討を行うが、新たな企業間連携を必要とするような良い検討分野を選定したい
- 選定した分野によって、作業部会でコアとなるメンバーも変わってくると思うが、ユーザー視点で創造することが重要なので、ユーザー企業の参加を望む
- 勿論、他のWGメンバーにも部会には参加して欲しいが、検討したい分野に詳しいユーザー企業が居ない場合は、新たに引き入れることも考える
- 特に、コンサル会社のWGメンバーの積極的参加をお願いしたい

4～5月の作業部会で検討するに相応しい②の分野は、企業間連携によって業界を刷新したり、新しい社会システムやグローバル連携を生むようなものと考えているが、以下のような観点で、知恵を頂けないか

- 今のメンバーで、ユーザー視点を持っていそうな会社とそれらにインフラ系の会社も加えて以下のような分野を考えていけないか
 - ー保険などのクラウドと事業会社側のクラウドの連携（東京海上日動を意識）
 - ータブレット端末を使ったデジタル書籍図書館（パナソニック、凸版、神奈川県）
 - ーグローバルな企業間連携やインタークラウド
- 今のメンバーでない、物流などこんなユーザーの方々を加えると、業界連携がありえるなどの提案はないか
- 欧米の先進事例などの焼き直しを狙えば、話が早いといったことはないか
- コンサル会社としてユーザー視点のいい知恵はないか（富士キ、日立コン、PwC、ITコ協、日能コン、日マ総研、三木氏、アクセンチュア）

WGメンバーの方々には以下をお願いをする。最終回答は、アンケートの中で答えてもらうことを考えている

- 任意ではあるが各種検討部隊への参画
 - －コアメンバーへの追加参加
 - －WG開催前のステアリング会合に参加
 - －会場の提供、事務局員提供、情報提供、スピーカーの紹介、等
 - －作業部会への参加
 - －4, 5月に2, 3回開催。AP+ビジネスモデルをユーザー視点で検討
 - －選定した分野で利用モデルに関し知恵だし、情報提供、報告書作成
- 本日配布するアンケート調査票への回答
 - －WGへの期待、次世代クラウドの定義(イメージ)への意見を収集
 - －さらに上記、検討部隊への参加意向を聞く

尚、アンケートについては本WGメンバーへの調査結果により何らかの編集を行った上で、6月の総会の際にJCC会員の方全てに回答を依頼することも考えている

当面の依頼事項とスケジュール(案)・・・スケジュール

当面のスケジュール案

	3月	4月	5月	6月
JCC総会				▲ 第2回
WG	第1回(キックオフ) ▲ 30日(本日)	アンケート集計・分析・参加希望		第2回 ▲ 総会前
コアメンバー会合	第1回 ▲ 9日(済)	メンバー追加 第2回	第3回	第4回
作業部会		メンバー召集	▲ 第1回	▲ 第2回